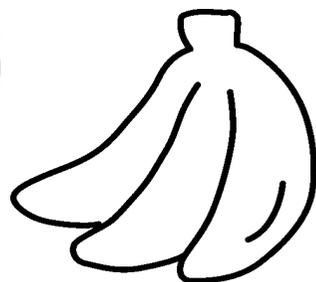


ばななだより

草笛学園 2025年 最終号 🌟



いよいよ年長さんに！

バナナ教室も残り数回となりました。保護者の皆様には、ご理解・ご協力頂き、ありがとうございました。子どもたちは、保育所・幼稚園で一番お兄ちゃん・お姉ちゃん存在である「年長さん」のかっこいい姿を今まで沢山見て、憧れの気持ちをいっぱい膨らませて過ごしてきました。4月から、いよいよ僕、私たちがその年長さんです！大きくなった自分をいっぱい感じて欲しいと思っています。来年度の外来教室（さくらんぼ教室）は、就学の情報提供や就学先についても一緒に考えていく場にもなります。引き続き、よろしくお願ひいたします。



「クセはなぜ出るのか？」

特に、4歳ごろは、60%の子は何か集中しているときに「クセ」と言われるいろんな行動が見られます。「クセ」の一つに、ブツブツ独り言を話すことがあります。これは自分のしていることを言葉に出して整理しているのです。また、絵本の読み聞かせの時などに、指を鼻に入れたり、足をいじったり、指吸いをしたりするなどの「クセ」として現われてきます。1歳の時によく見られる指吸いは、不安な気持ちを和らげる働きをしています。お気に入りのタオルやお人形など、片時も離さず、ずっと持っている姿はとても印象的です。しかし、4歳ごろに見られる指吸いは、1歳児の指吸いとはまた違った意味をもつようです。何か集中している時、注意を集中させている時、気持ちを押えている時などに、指吸いや爪かみ、鼻いじりなどのさまざまなクセが出てきます。このクセの原因は明らかになっていませんが、次のようなことが考えられます。体験する力が中心であったそれまでとは異なり、新しく考えるという力を身につけ始める時、子どもは無意識にでも何かを支えとして、次の新しい発達の力を育てていきます。そのため、クセは無意識に出ているので、子ども自身は意識していません。クセは、集中するために出てくる行為なので、周りが黙らせたり、やめさせたりする必要はありません。自然となくなっていくます。クセを精神上的の問題として、また、その子自身の弱さとして、「またそんなことをして！」と指摘したりしないでください。指摘ばかりすると、伸びていこうとする力が委縮されてしまいます。あるがままを受け止めてあげることで、子どもが本来向くべき力へエネルギーをかけるようになっていきます。

「汚いことば」

この時期には、乱暴で汚いことばを使ったり、今まで生活面でいねいにしてきたことを乱暴に扱うことがあります。アンケートの中でも、ことばづかいの悪さを気にするお母さんがおられました。使ってほしくないことばを使ってしまうことに、どう対応したら良いかわからないという意見です。「片づけをしなさい」というと「今忙しいの。そんなに言うなら、お母さんがしたら」とか「ほっといて!」「うるさいなー」と、汚いことばが次々出てきて、親は子どもの人格が変わったのではないかと心配してしまいます。これは、ことばを自由に使えるようになり、とても楽しい時期であると同時に、乱暴なことばを使うことも新鮮に映る時期です。相手の反応を確かめたり、驚いたり怒ったりするのをおもしろがっているのです。意味を十分に理解せずに、そのことばを使っているのです。人を傷つけたり、不愉快を与えることばを使った時には、その都度、大人がいけないということを教えていきましょう。

参考文献：長崎順子・山本喜久子・山本弥栄子著『子どもの「困った」を理解する』

◎3月のばなな教室のお知らせ◎

ばなな① 3月6日（木）13：00～

活動・・・ころがしドッチボール

持ちもの・・・シューズ、水筒、帽子

※保護者の方も動きやすい服装でお願いします♪

ばなな②：3月の開催はありません

～来年度も外来教室を継続されるみなさんへ～

来年度の外来教室は、『さくらんぼ教室』になります！

さくらんぼ教室①：第2木曜日 【13：00～15：00】

さくらんぼ教室②：第4木曜日 【13：00～15：00】



※3月下旬に、各ご家庭に日程や時間などの詳しい案内を郵送いたします。

必ずご確認のうえ、ご参加ください。質問等ありましたら、**草笛学園** (972-3950) までお問い合わせください

～アンケートのお願い～

来年度に向けてのアンケート未回答の方・ばなな教室②を利用されている方

QRコードを読み取って2月17日（月）までにご回答ください。

ご協力よろしくおねがいします。

